

【高等学校用】

令和6年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度(評価)
A:十分達成できている
B:おおむね達成できている
C:やや不十分である
D:不十分である

学校名 佐賀県立佐賀農業高等学校

1 前年度 評価結果の概要
○ClassyやICTの有効活用の拡大・職員研修。
○職員の働き改革に向けた業務等の見直しと意識改革。
○学校の魅力発信やPR対策。

2 SAGAスクール・ミッション 学校教育目標
○歴史ある農業高校としての実績をもとに、これからの時代に求められる農業教育を探究する
○グローバル視点と地域の人のつながりを大切にしながら、「農・食・環境」に関する協働的な学びを通して、主体的に地域の課題を解決し、地域を支えていく人材を育成する

Table with 3 columns: アドミッション・ポリシー, カリキュラム・ポリシー, グラデュエーション・ポリシー. It details the school's admission, curriculum, and graduation policies, including goals for student engagement and practical learning.

4 本年度の重点目標
①主体的に学び、考える力を育む教育の充実【学力向上】
②人権を尊重しながら人との絆を深めることができる心の教育を推進【心の教育の推進】
③健康を考えて行動できる能力の育成【健康・体づくり】
④特別支援教育の充実
⑤志を高める教育
⑥教育DXの推進

5 重点取組内容・成果指標

(1)共通評価項目

Main evaluation table with columns for Evaluation Item, Key Measures, Specific Measures, Progress, Progress Status, Achievement, Implementation Results, and School Relationship Evaluation. It covers areas like academic improvement, heart education, health, business improvement, and special support education.

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目

Table for independent evaluation items, including '魅力ある学校・学科づくり' and '学校情報の発信'. It details specific goals and outcomes for these areas.

●...県共通 ○...学校独自 ◎...志を高める教育 ★...唯一無二の誇り高き学校づくり

6 総合評価・次年度への展望
本年度は次のような点において評価できる。○国立大学に2名合格を含め、進路決定率100%達成できた。○公務員の合格者は延べ42人、実就職人数は19名となった。○体育祭や文化祭などの生徒会活動や農業クラブ活動等、自ら主体的な取り組みができてきている。○専門の学習活動を通して、多くの生徒が他者への「思いやり」や「やさしさ」を身につけることができてきている。○生徒が相談しやすい環境や体制ができてきた。○各専攻の専門性を活かした特徴ある取り組みができており、引き続き発展・充実に努める。○約85%以上の生徒が「本校に入学して良かった」と思っており、充実した学校生活を送れている。○保護者も約90%以上の方が本校教育活動に満足している。○一方で、次のような点が課題である。○本校の大きな魅力の一つでもある資格取得については、さらに意識を持って在学中に1つでも多くの資格を取得させる必要がある。○地域と連携した活動については、本校の特色でもあるため、地域のつながりを深めた探究活動や課題研究、プロジェクト研究活動の充実、OICTのスキルアップや有効的な活用方法等についての職員研修が必要。○職員の働き改革に向けた業務の改善と職員の意識改革が必要。○学校HPの適宜更新すること。○学校の魅力発信やPRをHPや学校だよりだけでなく、さらにもっと地域に向かい、本校の教育についてPRし、多くの人に理解してもらうような新たな取り組み。課題が残るところは工夫・改善を図り、地域から愛され、みんなが行きたい学校を目指して、魅力ある佐賀農業高校づくりに取り組んでいく。